



2021年6月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本塩町2-11
THE YMCA 神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/井上真二
編集人/松森正樹
印刷/南わかばやし印刷

YMCA News



年間聖句 「光あれ。」 創世記 1章3節

～神戸YMCAの会員制度の変遷を辿る～

神戸YMCAの会員制度は、その時代の要請とYMCAの願いとして、過去にも幾度となく、協議を積み重ねてきました。近年では、神戸YMCAの運営機構の改定、公益法人制度改革の中などの大きな変革の中、YMCAの会員とは何か、またそのための制度は、どのようにあるべきかを問うてきました。そして、その結果、2020年度より会員・会費に関する規程を改定しましたが、この時の協議の中心であった会員制度検討委員会の鈴木博和委員長より、改めて振り返っていただき、その意義を皆様と共有したいと思います。

はじめに

YMCA運動の更なる充実と強化のため、会員活動の活性化に取り組む新会員制度が2020年からスタートしました。全ての会員の理解と支えなしには神戸YMCAの運動の発展はありません。神戸YMCAの会員制度の変更の経緯について振り返りたいと思います。

会員運動強化にむけて

神戸YMCAは、従来、財団法人が事業と会員運動の主体となっていたが、一体で運営がなされていた。神戸YMCAは、使命達成への支援についての学びと協議を行う総会を年1回開催していたが、総会構成員(当時、有資格会員)は維持会員・基本会員・家族会員の内、18才以上のキリスト者、若しくは推薦を受けた者に限定されていた。

1984年、会員運動を強化するために会則改定が行われた。それによりキリスト者以外の会員が総会構成員になるための規定が作られた。しかし、それ以降、キリスト者以外で総会構成員になった例が無く、推薦基準が曖昧であるとの指摘がなされていた。

2001年6月にその推薦基準を明確にするため、「会費・会員制度検討委員会」を設置し検討が行われた。検討の結果、青年会の会員活動を活発化させ、強化するためには総会構成員の拡大を進める必要があり、会員に関する規程の整備を行うことになった。そして協議の結果、2002年の会則改定では、総会構成員は維持会員・基本会員・維持会員家族の内、「維持会員」から選出することとした。その後、2年程度の移行期間を設けて、基本会員の方に対し、維持会員への登録変更を依頼し、総会構成員拡大に努めることとした。

公益財団法人へ移行の中での会員のあり方

2008年度から政府が進める公益法人制度改革に対応し、そのための準備を進めていったが、長年の懸案課題であった会員制度については、具体的な策定までには至らなかった。基本会員から維持会員への移行の働きかけが十分になされないまま2011年に公益財団法人へと移行した。これまでは、神戸YMCAのプログラムは会員を対象として募集実施し、プログラムに参加される方は会員登録してYMCAの使命に基づく「会員活動」の担い手になっていただいていた。しかし政府が進める公益法人制度改革では、公益法人に対して活動参加の門戸を広く一般に開くことが求められました。そして、2013年4月より全てのプログラム参加者に会員登録を求めないこととし、新たに、プログラム参加者のための「活動会員(現・プログラムメンバー)」ができた。神戸YMCAの会員構成は、従来通り、維持会員・基本会員及び家族登録者で変更しなかった。

その結果、基本会員でYMCAのプログラムに参加するために会員になる方がい

会員活動の活性化を目指して

なくなり、プログラムには参加しないが、YMCAの趣旨に賛同し会員になった方が基本会員として残ることとなった。つまり、維持会員と同じ思いをもって会員になっていたにも関わらず、会費の税制優遇も受けられず、総会構成員にも推薦されない会員となってしまった。

2017年度神戸キリスト教青年会全体方針において、「会員」について捉えなおすと明記され、「会員に関する規程の整備」について検討するための会員制度検討委員会が設置された。

2019年神戸YMCA総会にて、基本会員を廃止して、全て維持会員へ一本化して総会構成員の拡大に努めることとした。基本会員の方には維持会員に登録移行を促し、維持会員としてYMCA運動に参加の上、お支え頂くこととした。

2020年度から新しい会員制度がスタートし現在に至る。

おわりに

会員制度の歴史を振り返ってみましたが、やはり、現状ではコロナ過の影響もあり、十分な会員制度変更の周知も叶わず、維持会員への移行は十分とは言えません。

「変わらない理念がYMCAを変えていく」というYMCA運動を展開していくことが大切であると今井鎮雄氏が言われていたことを思い出しました。

今、コロナ禍という特殊な社会環境の中で先行きが見通せない苦しい状況の中、創意工夫して今まで以上にYMCAの変わらない理念を現実社会に適合させていかなければならないと思います。地域で不可欠な団体として存在し、その使命を果たし続けていくために、YMCAに関わる者、全てが結集する団体でありたいと思います。それには、全ての会員の理解と支えが不可欠です。是非とも、YMCAの理念達成への支援のため、維持会員として神戸YMCAのお支えをお願いします。

2017年度「会員制度検討委員会」委員長 鈴木博和



委員(任期:2017年11月～2019年3月)※役職、所属は当時。

- 鈴木 博和 氏 西部地域委員
- 魚住 秀雄 氏 公益財団法人評議員・学校教育事業委員 *故人
- 石井 恭子 氏 常議員・会員活動委員・西宮ワイズ
- 中尾 秀一 氏 常議員・公益財団法人監事・国際委員
- 藤井 久子 氏 学校法人理事・評議員・ミッション委員・神戸学園都市ワイズ
- 藤田 裕 氏 社会福祉法人評議員・東部地域委員
- 松本 聡子 氏 公益財団法人評議員・中央地域委員
- 安行 英文 氏 会員活動委員・さんだワイズ
- 中道 基夫 氏 神戸キリスト教青年会会長・神戸ワイズ
- 井上 真二 氏 神戸YMCA総主事・神戸ポートワイズ



Pick up

新しい学年が始まりました！



2年生によるおもてなし！
[神戸YMCA学院専門学校ホテル学科]

教室も、消毒して感染対策。
[神戸YMCA学院専門学校日本語学科]



リーダーたちもしっかり研修して子どもたちを迎えます！
[ファミリーウェルネスセンター]

神戸YMCA創立135周年記念日礼拝を行いました



5月8日(土)に神戸YMCAの135周年の創立記念日礼拝を行いました。昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大のため初めての緊急事態宣言が発出され、中止せざるを得ませんでした。今年度も昨年と同様に緊急事態宣言が出されている中で創立記念日でしたが、オンラインで開催することが出来、56名の礼拝参加者が与えられました。

今年、神戸キリスト教青年会の中道基夫会長からメッセージをいただきました。このメッセージの中で、今年のテーマ「一つに集めるために」は、この時代、YMCAがたてられた目的を思い出し、今、私たちYMCAが何をすべきなのかを指し示していると語られました。このコロナ禍

で分断されたこの世は、誰とも相談することが出来ず、孤立せざるを得ない状況です。このような状況の中、私たちYMCAは、人々を、特に青年たちを呼び集め、つなぎ合わせる役割を思い出し、それらに取り組み、解決していくことに向かわなければならないことを確かめることが出来ました。

神戸YMCAの創立されたこの日、YMCAの“A”、アソシエーションには、どのような思いや願いがあるのかを思い起こし、中道会長のメッセージを通して、神戸YMCAに集う私たちの気持ちを一つにする機会になったと確信しています。

「水」と楽しく、安全に触れ合う

ウエルネスセンター

今では日本全国にたくさんの温水プールがありますが、日本で最初に創設されたのは1917年東京YMCAのプールです。100年以上の間、YMCAは日本における水泳事業のパイオニアとして水泳指導の普及、水泳指導者の養成などで貢献してきました。

神戸YMCAでは、ウエルネスセンター学園都市とファミリーウエルネスセンターの両センターに生後6か月の子どもから90歳を超える方々までが在籍し、日々プールでのプログラムを楽しんでいます。

プログラムでは、4泳法の習得は勿論、水に触れることへの楽しさや恐さ(水上安全)についても指導しています。これから暖かい季節になり、プール以外でも川や海など「水」に触れる機会が多くなってきます。自分の「いのち」は自分で守る。泳げることも大切ですが、泳ぐことが苦手な人でも実践できる技術についても指導しています。

両センターのクラスでは毎年この季節に「水上安全教育」を行っています。水上安全への正しい知識を深めながら来るべき夏に備え、YMCAで楽しく水に触れ合しましょう!

スタッフ一同お待ちしております!



写真は2月24日(水)におこなった特別活動の淡路市ツーリズムのものです。

生徒の学びを守る

神戸YMCA高等学院

神戸YMCA高等学院では、4月1日(木)に入学礼拝、4月2日(金)に前期開講礼拝を行い、4月5日(月)から新年度の授業をスタートいたしました。昨年は、前期開講とほぼ同時に緊急事態宣言が発令され、5月末まで対面授業ではなくリモート授業を行っていました。今年度もコロナ禍の中であるのは変わりないですが、感染予防対策を万全にして、対面授業を行っています。

授業の一環として、特別活動があります。特別活動とは、生徒の社会性や個性を育み、心身の成長を促すための集団活動です。具体的にはホームルーム活動や学校行事などで、神戸YMCA高等学院では卒業までに30時間以上の特別活動に参加しなければなりません。昨年度はコロナ禍の影響により、前期(4月から9月末まで)の特別活動で校外に出ることは制限されていました。今年度は、授業と同じように感染の予防対策を徹底し、積極的に活動を行っていく予定です。しかし、4月26日(月)のボウリング大会は中止・延期せざるを得なくなり、残念でした。

灯台

Light House

No.31

総主事 井上 真二



「PRAY for KUMAMOTO・熊本への祈り その2」

2016年4月14日の「前震」、28時間後の4月16日の「本震」、観測史上初めての「2度の震度7」という熊本地震から今年で5年が経過し、各地で追悼式が行われました。熊本県のまとめによると、最大で県内人口の1割にあたる約18万人が避難所での生活を余儀なくされました。その後も続く強い余震の為、マイカーでの車中泊避難に切り替えた方の中には長時間の窮屈な姿勢によるエコノミー症候群の問題も報じられました。当時避難所となった、熊本YMCAが運営する体育館がある益城町では、地震の翌年には18の仮設住宅に約3900人が避難生活をされていましたが、今年3月末には1箇所となり約150人

が生活されています。今春3月7日には、崩落した阿蘇大橋に代わる新阿蘇大橋(全長525m)が開通し、被災主要道が全て復旧しています。復興のシンボルとなった熊本城天守閣も復旧工事を終え、4月26日から一般公開の予定でしたが、「医療非常事態宣言」が発令され、公開延期となりました。地震直後、神戸YMCAが支援に駆けつけた事は前にもお話ししましたが、現在ではコロナ禍での避難所のあり方、車中泊避難の新しいあり方を模索する自治体も相次いでいるとの事です。4月初旬からトカラ列島付近で地震が頻発し、たった数日間で震度1以上が200回を越えるニュースを多くの方が心配な気持ちで見守られたと思います。熊本地震から5年、これからも続いて行く復興の道なりに祈りを合わせたいと思います。



R E P O R T

神戸YMCAちとせ幼稚園

共に喜んで～すべての歩みの中～

この時期の天気の良い園庭では、走り回ったり、砂場で山や道や池や海を作ったり、ただひたすら水に触れるだけで楽しんでいたり、水たまりを作ってその中で遊んでいたり、スコップをズボンにさしてヒーローに成りきっていたり…。一見何をしているのか？説明ができないような遊びがあちらこちらで繰り広げられています。ルールや決まり事など何もないのですが、そんな状況でも子どもたちはその世界の中で楽しそうに過ごしています。もちろんケンカがあったり、物の取り合いがあったり、悔しがっていたり、泣

いていたりすることもあります。しばらく経つとまた楽しそうに笑って遊び始めます。

今年度キリスト教保育連盟は、年主題を「共に喜んで～すべての歩みの中～」と決めました。幼稚園生活の中で、喜ぶとはどういうことか？関わる保育教諭が子どもたちに何かをして喜ばせるのではなく、子どもたちが子どもたちの世界の中で作り出す喜びを大切に、子どもたちのこれからの歩みを神さまの見守りの中で共に喜び、豊かに進めていきたいと思ひます。



神戸市立太山寺児童館

地域と共にある児童館

太山寺児童館・小寺学童保育コーナーでは、新1年生を含めた43人の新しいお友だちを迎え、総勢150人で新しい年度をスタートしています。

初日は、緊張と不安で涙を流す子もいましたが、いざ児童館で遊び始めればいつの間にかみんな笑顔で過ごすことができました。昨年に引き続き、コロナウイルス感染症の対策をしていながらの新年度スタートとなりましたが、昨年と変わらず、たくさん子どもたちを迎え入れることができました。

2021年度より、太山寺児童館は西区の拠点児童

館(区の代表児童館)としての活動がスタートしました。今後、発達が異なる子どもと保護者の方を対象としたプログラムや、子育てに関するお悩みの解決につながる取り組みを今まで以上に行っていきます。

これからも、地域に根差し、皆様と共にある児童館となるように努めてまいります。このような困難な中であっても、子どもたちも、児童館も、新しい環境の中で新たな一歩を歩みだしていきます。



神戸市立西体育館

地域の健康を考える

西体育館では、新型コロナウイルス感染症対策を実施のうえで、運営しています。

4月14日(水)、体育館イベントとして「はじめよう！健康体操」を実施しました。

参加者は30名。このイベントで初めて西体育館のプログラムに参加される方も多くいらっしゃいました。音にあわせてのリズム体操で体を動かし、ミントランポリンや筋力トレーニングでからだを引き締め、最後はストレッチでリラックスして締めくくりました。

参加者の皆様が笑顔で、楽しそうにからだを動かしている姿をみていると、イベントを企画・開催して良かったと思います。あらためて「運動って楽しい」ものだ、と感じさせられました。次回の申込も、すでに満員です。普段、あまり運動をされていない方がこのようなイベントをきっかけに、楽しく運動を続けることが出来ればと願っています。

これからも、地域の方々の健康をともに考える体育館でありたいと考えています。



こくさいのまど

26年前にチェンライに寄贈した小屋が!?

“Y-森のコーヒー”ハウスに生まれ替わりました！1995年3月、第10回神戸-チェンマイYMCA協働プロジェクトで神戸とタイのユースがともに建築作業し寄贈したルエン・タイと呼ばれる木造の小屋がタイ北部チェンライYMCAにあります。アカ山岳民族の子どもたちが通う“若竹寮”支援の為に“Y-森のコーヒー”をスタートし、2021年3月6日にコーヒー・ハウスとして神戸YMCA国際協力募金により寄贈した小屋がリニューアルオープンしました。その夜、神戸ワイズメンズクラブ、神戸ポートワイズメンズクラブやYMCA仲間とZOOMで祝いました。

“Y-森のコーヒー”のコーヒー豆は、ミャンマー国境近くのパヒ村で栽培し収穫されています。この村には小学校以上の学校がなく、子どもたちは村を出てこの若竹寮からチェンライの学校に通います。ワイズメンでもあるヨハン牧師の素晴らしい指導の下、若竹寮は子どもたちが一緒に住んで学校に通うことができる居場所なのです。大切な事は、山岳民族のコーヒー生産者と家族をYMCAが持続的にケアを提供するという使命で、国境を越えて神戸でコーヒーを味わっていただける事で、子どもたちがさらなる教育を受けることが出来る持続可能な支援資金の調達活動なのです。

現在、神戸YMCA三宮会館でコーヒー豆の購入が可能です。コーヒー豆の収益は神戸YMCA国際協力募金に用いられます。





キャンプ連載「私たちはどこから来て、どこへ行くのか？」

<#02「鉄の檻」の中の私たち(近代化と人間の尊厳)> キャンプディレクター 阪田 晃一

近代は「合理化」の時代と呼ばれます。これだけ複雑な近代社会を回すためには、かつては少人数の仲間から、地域から、家族から、自然から得ていた便益を、システムに置き換える必要がありました。それは「計算可能性」を高めることであり、例えば市場も行政も、すべて人間の行動を「コスト」として捉え、計算可能な存在として扱うことで「最適化」していきます。政治が主導し、行政官僚制のもとで進んでいく近代社会で私たちは、合理的に振る舞うことを求められます。

複雑性の中で計算可能な存在として合理的に振る舞うことは、社会生活をうまく営むためには止むを得ないことです。しかし計算可能な存在は同時に「置き換え可能」な存在でもあることにも注意を向けなければなりません。近代社会で人は常に、隣の誰かと置き換え可能な存在なのです。

人間の置き換え可能性が高まれば当然、その尊厳は失われます。社会学者のマックス・ウェーバーはこの現象を「没人格化」と定義し、近代社会の成れの果てを憂いました。「人々は複雑な社会の中で合理的な振る舞いを続ける結果、人格を没し、まるで機械のような存在になってしまうだろう。そし

てそんな社会でまともな人間が育つだろうか、倫理的な政治家が生まれてくるのだろうか」と近代化の行先にやってくる「鉄の檻」に絶望したのです。

前回論じたユカギールの人々は、一度は近代化したものの体制が崩壊して、自給自足の生活に戻った稀な民族です。そこではスピリンドン爺さんのように、人間が共同身体性を有した境界的な存在として生きています。近代化の罅の中で「閉ざされている」私たちにとって、罅の外に開かれたその存在は希望です。『進撃の巨人』が描いているように、私たちは視座を転換することができれば、それまで自明だと思っていたことが実は自明ではないことに気がつき、世界の未規定性に開かれた存在になることができます。

いま私たちに必要なのは、この近代化の波に抗うことです。鉄の檻の外に出ていくのです。そのためには「過剰」な存在が必要です。周りを見渡して見てください。狂っていると思っていた存在は、実は私たちに罅の外を見せてくれる、開かれた存在なのかもしれません。そんな「計算不可能性を設計する」キャンプ場はそういう場所なのです。

神戸YMCAポジティブネット募金 報告・感謝

神戸YMCAは新型コロナウイルス感染症対策を行いながらも、私だけではない、今困っている誰かのために2021年3月31日まで期間を定め、募金活動に取り組んで参りました。コロナの影響を受ける青少年支援のため、多くの皆様にご支援・ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

期間中に皆様からお寄せいただいた募金・寄附の総額は以下の通りです。(2021/3/31現在)

個人・企業等(130件)	2,750,128円
ワイズメンズクラブ六甲部(8クラブ)	4,000,000円
補助金・助成金等(19件)	6,714,545円
合計	13,464,673円



新型コロナウイルスは終息の兆しが見えず、多くの子どもや若者に大きな影響を与え続けています。神戸YMCAでは引き続き感染症対策を行いながら、子どもや若者の学びや体験の機会を提供し、生活を支援する取り組みを進めて参ります。

「神戸YMCAポジティブネット募金」は緊急支援募金としての期間を終了しましたが、コロナの影響を受ける子どもや若者のための募金を継続して受け付けております。これまでご支援いただいた皆様に改めて感謝申し上げますとともに、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

神戸YMCAの使命 (日本YMCA基本原則)

- イエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学びます。
- すべての人びとの全人的な成長を願い、いのちを守り育てます。
- 人権を守り、喜びと痛みを分かちあう社会をめざします。
- 世界の人びとと共に、平和の実現に努めます。

ファミリーウエルネスセンター
ランゲージセンター
専門学校
西宮YMCA
余島野外活動センター
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)
国際・奉仕センター
ウエルネスセンター学園都市
西神戸YMCA
神戸YMCA高等学院
YMCAおひさま

☎078(241)7202
☎078(241)7204
☎078(241)7203
☎0798(35)5987
☎0879(62)2241
☎078(241)7216
☎078(241)7204
☎078(793)7401
☎078(793)7402
☎078(793)7435
☎078(793)9077

西神戸YMCA
須磨YMCA
YMCA保育園
西宮YMCA保育園
西神戸YMCA保育園
神戸学園都市YMCAこども園
神戸YMCAちとせ幼稚園
YMCAちとせ保育ルーム
西神戸YMCA幼稚園
西宮つとがわYMCA保育園
あかしこども広場
学園都市YMCA保育ルーム

☎078(993)1560
☎078(734)0183
☎078(794)3901
☎0798(35)5992
☎078(792)1011
☎078(791)2955
☎078(732)3542
☎078(786)3821
☎078(997)7705
☎0798(26)1016
☎078(918)6355
☎078(794)3045

2020年度YMCA国際協力募金 報告・感謝

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により神戸YMCAではバザーやチャリティイベント、街頭募金等の募金活動が叶いませんでしたが、その中でも多くの方々からご寄附いただき心より御礼申し上げます。皆様から寄せられた募金は、ユース育成や平和教育、災害や国の情勢で困難にある方々のために用いられます。

2021年度も引き続きYMCA国際協力募金へのご理解・ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

【支 出】

日本YMCA同盟拠出金	250,000
東南アジア農村支援(ラオス)	100,000
東南アジアこども支援(口唇口蓋裂プロジェクト)	30,000
定住外国人子ども奨学金	180,000
国際活動リーダーシップ養成	70,762
神戸YMCA国際奨学金	468,000
オリーブの木/パレスチナ・ガザ支援	68,000
東日本大震災支援	20,714
台風19号・15号支援募金	9,132
ミャンマーYMCAに関わる緊急支援募金	150,000
CODE-PHD協会支援	100,000
開発・国際理解教育	70,000
事務局経費	70,000
計	1,586,608

【収 入】

一般募金	1,556,762
指定募金	29,846
計	1,586,608

感謝・寄附

(敬称略、順不同)(前号掲載以降~4/15現在)

寄附

鈴木めぐみ、阪根 新、高井 和代、谷 紳一

ポジティブネット募金

大野 勉

国際協力募金

神戸ポートワイズメンズクラブ、
幼保連携型認定こども園
オリンピア都こども園、
フレンチレストラン「Vérité」

この他にも、多数の募金・寄附をいただいております。感謝をもってご報告します。

神戸YMCAの願い (日本YMCA中期計画2020)

すべての「いのち」が光り輝くように、これを守り育てます。そのための活動に世代を超えた市民の参加を求め、その活動を通して新しいコミュニティを創造します。

